

CEDOH : Centro de Documentación de Honduras

石井 章

(中南米総合研究プロジェクト・チーム)

ホンジュラスは中米の後発発展途上国であり、その政治、経済、社会の実態に関して得られる情報の最も少ない国である。CEDOH(ホンジュラス資料情報センター)は、ホンジュラスの現実に関する正確な情報を求める世の要請に応じて1980年に設立された民間の情報センターである。

CEDOH設立の趣旨として以下のことが掲げられている。(1)ホンジュラスの経済、政治、文化、社会に関して得られるあらゆる情報を収集、分類、整理し、解釈する。(2)ホンジュラスの現実に関して、真実の、かつ詳細な知識を求める個人や機関を対象に、客観的、総合的な情報の普及を定期的に行なう。(3)地域の状況や国際的な状況を国民が正しく把握できるように、必要な情報を国内に普及する。(4)ホンジュラスの現実についての認識を深めることに関心をもつ学術研究者、アナリスト、ジャーナリスト、その他の学者、機関を対象とした、ホンジュラスに関するデータ・バンクの役割を果たす。(5)ホンジュラスに現に存在する情報の欠落部分を埋める。

CEDOHは社会科学関係の民間の情報機関としてはホンジュラスで唯一のものである。センターの財源

はHIVOS, OXFAM等の財団の基金と、出版物の売上げ等の自己資金である。スタッフはビクトル・メサ (Victor Meza) 所長以下正職員3人と補助職員2名のみで、この人数で定期刊行物をはじめ多数の刊行物を出版している。刊行物は、(1) *Boletín Informativo* (月刊情報誌)、(2) *Boletín Especial* (不定期。特定のテーマを扱い、平均年8回刊行)、(3) *Serie Cronologías* (特定の問題についてのクロノロジー・シリーズ)、(4) *Informe de Derchos Humanos* (季刊。国内の人権問題に関する報告)、(5) 単行書、である。単行書以外はすべてセンターのスタッフのみで作成する。

これまでに出版された *Boletín Especial*, *Serie Cronologías* のなかには以下のようなものがある。

『ホンジュラスの経済危機：真の解決の道はあるのか』、『ホンジュラスにおける失業、不完全雇用の診断』、『ホンジュラスにおける難民の再配置』、『ホンジュラスにおける労働運動、農民運動の展開に関する覚書き』、『ホンジュラス：農業政策とその展望』、『ホンジュラス首都圏における都市化のプロセス』、『ホンジュラス—米国関係の現状把握のための六つの鍵』、『ホンジュラスにおけるコントラと人権問題』、『米国の対ホンジュラス軍事政策』、『グスタボ・アルバレス將軍期以後のホンジュラスにおける人権状況についての報告』、『農地改革25年』、(以上 *Boletín Especial*)、『ホンジュラスにおける教会：1982-1984』、『ホンジュラスにおける汚職：1982-1985』、『ホンジュラスにおける労働争議：1982-1986』、『ホンジュラスにおける農民争議：1982-1986』、『ホンジュラスにおける難民：1980-1986』(以上 *Serie Cronologías*)。

CEDOH事務所はテグシガルパ市の中心部からは離れた住宅街にある。連絡先は、

Apartado Postal No.1882, Tegucigalpa, D.C.
Honduras, C. A. TEL. 32-84-86



ビクトル・メサ所長 (CEDOH事務所前で)